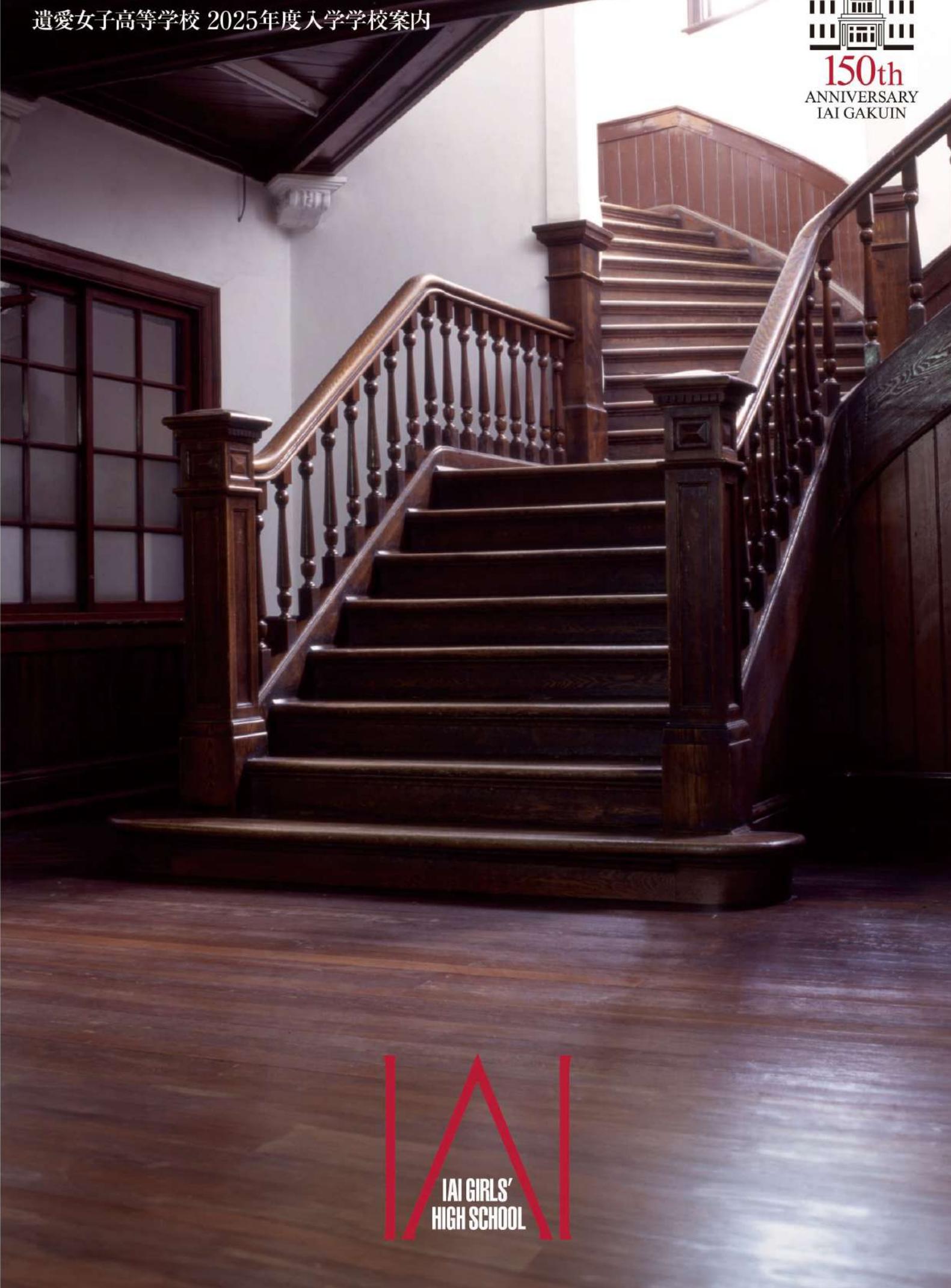


# IAI GIRLS' HIGH SCHOOL PROFILE 2025

遺愛女子高等学校 2025年度入学学校案内



## 歴史・沿革 1874~2024

- 1874(明治7年)アメリカ・メソジスト教会牧師、M.C.ハリス夫妻来函。  
ただちに、日々学校(Day School)を開設した。  
これが遺愛学院の始まりである(創基年)。
- 1876(明治9年)/ハリス夫人の「如何にして婦人を救うべきか」~  
ウーマン・フレンズ紙に掲載。
- 1878(明治11年)アメリカよりブリストラ女史が来函、下地をつくる。
- 1881(明治14年)C.R.ライト夫人(駐独・アメリカ公使夫人)の献金で、  
現遺愛幼稚園所在地(元町)に校舎起工。
- 1882(明治15年)文部省認可の正式な女学校として2月1日開校~校名  
「カロライン・ライト・メモリアル・スクール」(創立年)
- 
- 1885(明治18年)校名を「遺愛女学校」と称する。
- 1891(明治24年)予科設置。小学生も入学させる。
- 1892(明治25年)予科を尋常小学科に変更(1908年、廃止)。
- 1895(明治28年)幼稚園併置。
- 1900(明治33年)予備科設置(1914年、廃止)。
- 1908(明治41年)湯川通り(現校地)に新校舎・寄宿舎・宣教師館完成。  
校歌制定。
- 1915(大正4年)校章制定。鈴蘭会(現生徒会の前身)発足。
- 1924(大正13年)大崎町に第二遺愛幼稚園発足。
- 1930(昭和5年)セーラー服の制服制定。
- 1934(昭和9年)函館大火。被災児童救援のため、鈴蘭園託児所開設。
- 1935(昭和10年)講堂完成。  
学校新聞「聖鐘」創刊。
- 1937(昭和12年)日中戦争始まり、この頃より、軍国主義的諸行事への  
参加始まる。
- 1941(昭和16年)太平洋戦争始まる。学校報国団結成。
- 1944(昭和19年)「遺愛高等女学校」となる。
- 1945(昭和20年)校舎・軍隊に接收され、的場国民学校へ移転(4月)。  
敗戦(8月)。校舎返還される(10月)。
- 1947(昭和22年)新制中学校発足。
- 1948(昭和23年)新制高等学校発足。「遺愛女子高等学校」及び  
「併設中学校」と改称。
- 1950(昭和25年)遺愛PTA発足。
- 1954(昭和29年)新制服(現行)制定。
- 1963(昭和38年)生徒会機関紙「鈴蘭」創刊。
- 1969(昭和44年)英語科新設。
- 1980(昭和55年)創立百周年記念新校舎完成。
- 1981(昭和56年)法人名を「遺愛学院」とする。
- 1982(昭和57年)遺愛旭岡幼稚園開設(第二幼稚園発展の解消)(4月)。  
旧宣教師館(ホワイトハウス)、北海道文化財に指定(8月)。  
創立百周年記念式典(9月)。
- 1985(昭和60年)講堂にパイオニアガン設置。
- 1988(昭和63年)普通科特別進学コース設置。
- 1991(平成3年)中学校・中・高一貫の新体制発足(4月)。  
創立百周年記念式典(6月)。
- 1992(平成4年)中学校・新制服制定(4月)。  
創立百周年記念式典(6月)。
- 1996(平成8年)創立百十五周年記念東館完成(11月)。
- 1997(平成9年)本館登録有形文化財に指定(5月)。  
創立百十五周年記念式典(9月)。
- 1998(平成10年)遺愛学院寮別館完成。
- 2001(平成13年)ホワイトハウス 国の重要文化財に指定(6月)。
- 2002(平成14年)創立百二十周年記念式典(9月)。
- 2004(平成16年)創立百三十周年記念式典(11月)。  
本館 国の重要文化財に指定(12月)。
- 2005(平成17年)謝恩館 有形登録文化財に指定(3月)。
- 2006(平成18年)新体育馆完成(4月)。
- 2009(平成21年)創立百三十五周年記念式典(9月)。
- 2014(平成26年)創立百四十周年記念式典(9月)。
- 2019(平成31年)創立百四十五周年記念式典(4月)。
- 2024(令和6年)創立百五十周年記念式典(9月)。



学校 遺愛学院  
遺愛女子高等学校

〒040-8543 函館市杉並町23-11  
TEL 0138-51-0418代 FAX 0138-51-7150

<https://www.iaijoshi-h.ed.jp>



遺愛女子高等学校  
ホームページ



遺愛女子高等学校  
公式Xアカウント



遺愛生徒広報室  
公式Instagramアカウント



イラストコンペティション2023  
遺愛大賞受賞作品／荒谷玲衣さん・雨塚瑚々乃さん





## 応援したいのは、 はてしない未来を見つめる目

何を学ぶかではなく、何を学ぼうとするか。  
高校での3年間は、自分の目標に向けて、  
しっかりと前進する姿勢が問われる時です。  
若さが輝いているのは、はてしない未来をしっかりと見すえているからです。  
未来への一歩を踏み出したみなさんのために、  
わたしたちは誠意をもってお手伝いするつもりです。  
ぜひ、遺愛で有意義な高校生活を送ってください。

### CONTENTS

- 01-02 教育目標
- 03-04 校長メッセージ／各コース卒業生の声
- 05-06 普通科特別進学コース
- 07-08 普通科一般コース
- 09-10 英語科
- 11-12 進路実績／各科・コースの合格実績
- 13-14 進路実現に向けた取り組み
- 15-16 自分を深める、地域とつながる
- 17-18 年間スケジュール／制服紹介
- 19-20 クラブ活動
- 21-22 キャンパス案内／奨学金制度・特待生制度・減免制度

## 徳行・犠牲・奉仕

この三大精神で、人間としての成長をめざしています。

本校の教育目標は、「キリスト教の信仰に基づき、神の前に誠実に生き、  
犠牲と奉仕の精神によって、すべての人に仕え、神と人と愛される人間の育成」です。  
開港まもない明治のはじめ、アメリカ人宣教師M.C.ハリス夫妻が函館を訪れ、  
女子教育の必要性を説いたのをきっかけとして、大きな一步を踏み出した「遺愛」。  
そして遺愛の礎となる「信仰・犠牲・奉仕」の精神を、第4代校長ミス・デカルソンが提唱しました。  
人間として自分を見直す機会があるとき、  
きっとこの言葉があなたを勇気づけてくれることでしょう。



Miss Augusta Dickerson





## 毎日が楽しく、キラキラ、可能性をひらく遺愛へ



皆さんは何を基準にして高校を選ぼうと考えていますか？高校卒業後の進路のことはとても大切です。その可能性が大きく開かれている学校を選ぶのは当然です。遺愛に入学して、閉ざされる夢はありません。医師になるため、薬剤師になるため、弁護士になるため、獣医師になるため、国際公務員になるため、東大・京大・北大や国公立大学の医学部や薬学部、獣医学部、法学部、国際関係学部などを目指して努力し、夢を実現している卒業生がいます。また、通訳、フライトアテンダント、教師、看護師、保育士、美容師、社会福祉士、管理栄養士、パティシエを目指している先輩もたくさんいます。将来の進路実現はとても大事ですが、それとともに、やはり在学中の高校生活が楽しく、イキイキとして、充実していることも、高校選びの重要なポイントです。

遺愛では、卒業間際の高校3年生に毎年アンケートをとっています。卒業生が回答してくれたアンケートで「遺愛の生活全体を振りかえってどうでしたか？」という問い合わせに対して、毎年95%ほどの生徒が「とても良かった・良かった」と答えてくれています。非常に満足度が高いことがわかります。生の声として「毎日がキラキラしていた。」「友達、先生に恵まれ、楽しい3年間だった。」「良い学校だなと思うことが多かった。」「すべてにおいて“楽しい”をいっぱい感じました。」「行事が最高で、人生においても濃い3年間でした。」



遺愛女子高等学校 校長  
福島 基輝

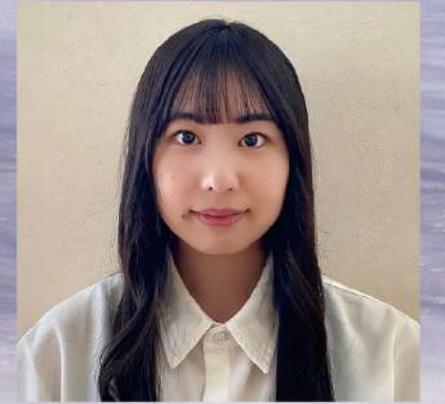
## EPISODE 1



鈴蘭の花を広く世に伝えたのは、遺愛の宣教師たちだった。  
野の小道や庭に可憐に咲くスズラン。だれでも知っている花で、全国的に北海道の花というイメージがあります。ところで本校の校章（1915年制定）をご存知ですか？ 遺愛の文字を左右からスズランで囲み、人格円満と純潔、謙遜を表現しています。そしてこのスズランの花の愛らしさを広く伝えたのは、本校の宣教師たちだといわれています。明治時代の昔から本校ではスズラン摘み遠足が行われるなど、ゆかりの深い花として大切にされてきました。校友会名の「鈴蘭会」は、今も生徒会名として受け継がれています。



### 普通科特別進学コース



卒業生  
京都大学 文学部人文学科  
米山 静花

### 普通科一般コース



卒業生  
函館厚生院看護専門学校 看護科  
小板 莉緒

### 英語科



卒業生  
中央大学 文学部人文社会学科日本史学専攻  
見陣 広菜

私が中学3年生のときに遺愛を選んだ理由は、「吹奏楽部の活動が有名で制服が可愛かったから」という至極単純な理由です。ですが、今ではそんな単純さで遺愛を選んだあのときの自分に感謝を伝えたいです。入学当初、特にいたるものもなかった私にとって、「遺愛に入學して閉ざされる道は無い」という校長先生のお言葉がとても印象深かったのを覚えています。実際に高校生活を終えてみて、遺愛での3年間はまさにその言葉に尽きると心から思いました。遺愛ではしっかりと勉強すれば大丈夫です。ですが、テストの教科数が多いときは特に2週間前からコツコツ勉強することをオススメします。部活動では苦しい練習も多くありました。しかし、仲間と共に乗り越えてきました。その経験が絶対的に結果に繋がると思うので、皆さんも仲間にしっかりと頑張って欲しいです。進路については、私の入学した理由にもある通り、遺愛には『指定校推薦』が多くあります。私が指定校推薦を取るために力を入れたことは、『模試の勉強』です。模試が近くなると過去問を印刷して友達と教え合い、それでも分からないところは先生に聞きながら勉強してきました。そして指定校推薦の受験では面接や小論文などがありますが、先生方が1人ずつ付いてくださり何度も面接練習をしてくださるので安心です。そして私が最後に伝えたいことは、遺愛は本当に先生も生徒も仲の良い学校だということです。そんな遺愛で充実した3年間を皆さんにも過ごして欲しいです。

私は「英語を話せる人になりたい！」と思い、英語科に入学しました。英語科は1年生のときから本当に英語の授業が多く、最初はついていくのが不安でした。しかし、周りには英検1級や準1級取得を目指している人がいたり、留学を視野に入れている人がいたりと、入学早々負けてられない！とやる気が出たことを覚えています。英語に限らず様々な教科で、学習を重ねていくつまづくことはありましたが、先生方は「いつでも質問において」と言ってくださるので、片っ端から質問し解決するまで付き合ってもらったこともよくありました。すぐに質問しやすい遺愛の環境というものは、他にはあまりないのではないか？と今振り返ると思います。私は遺愛に進学をして、自分の視野がとても広がったと感じています。毎日の礼拝でのお話や授業、修習会で様々な社会問題に触れる機会が多いため、日本だけでなく世界の現状を知り、意見を持つことができるようになりました。加えて英語科には客船ボランティアなどを通じて、海外の方と英語で交流できる機会があります。「客船ボランティア」に参加した際、自分の未熟さを実感しても悔しかったですが、これを機に新たな目標を作ることができました。英語科には途中で緩んでいた自分を改め、さらに向上させてくれる機会がたくさんあると感じます。国際ボランティアや留学にも積極的にチャレンジし、仲間と出会える英語科で、ぜひ有意義な3年間を送ってください！



昔から憧れの象徴だった、ホワイトハウス。

本校の誇りである遺愛学院旧宣教師館は、美しい白壁からホワイトハウスと呼ばれています。函館出身の文学者亀井勝一郎は、寒川の渡し、立待岬の満月、旧桟橋の落日、教会堂のボブラ並木、臥牛山山頂、五稜郭の夏草、修道院の馬鈴薯の花と共に、このホワイトハウスの隣隣を「函館八景」に挙げています。「そういう昔、この建物を外から眺めた函中のある学生はミッション・スクールの女子学生に対する少年のあこがれの象徴でした」と述懐しています。2001年6月、国の重要文化財に指定されました。

# 普通科特別進学コース

特別進学コースは、国公立大学、そして難関私立大学への現役合格を目指すコースです。

1・2年時では7時間授業を実施して、主要5教科で、標準単位数を上回る授業時数を確保しています。

2年時からは、文系と理系のコースに分かれて、希望進路に応じた受験教科を集中的に学習します。

成績を上げることだけを追求しているわけではありません。

日々の礼拝や沢山の学校行事、クラブ活動や課外活動などさまざまな経験を通して、

自分を作り上げ、自分の生きる道を確固たるものにすることを大切にしています。

一人ひとりが思い描いた夢を、遺愛では最大限にサポートし、

その夢の実現のお手伝いをしていきたいと考えています。

## ■普通科特別進学コースカリキュラム(一部抜粋)

	国語	地歴公民	数学	理科	英語
高1	6	4	7	4	7
高2 文系	7	7	6	3	7
	5	5	6	7	7
高3 文系	5	7	6	4	6
	5	3	6	8	6

※上記の数字は標準的な選択科目を履修した場合の単位数です。



## 部活動所属率122.4%

2024年度5月現在での部活動所属率は、3学年平均で122.4%でした。100%を超えるのは、1人で複数の部活を掛け持ちして所属している生徒も多くいるためです。特進コースの勉強の内容は難しい教科もありますが、大半の生徒が部活動と勉強をしっかりと両立しています。30を超える部活動の中から自分の好みに合うものを選び、メリハリをつけて、何事にも全力で取り組める生徒が多いことが特進コースの特徴です。

PICK-UP

2年時から  
内部進学生との  
混合クラス

1年時は、遺愛女子中学校から進学した生徒とは別のホームルームになります。そのため、遺愛での学習方法の確立や進路探求など、高校から入学してきた生徒のペースで進めることができます。これが特徴です。



ハリス夫妻の日本への愛情を示す、ピストルを投棄したお話。  
明治7年(1874年)、前年に結婚したばかりのM.C.ハリス夫妻が、函館にその偉大なる一步をしました。メソジスト教会の宣教師として日本派遣の命を受けたハリスは、もともと東洋への伝道を希望していました。しかし当時の函館はドイツ領事が暗殺されるなど、在留外国人の間では不安が高まっています。ハリス夫妻の身を案じた友人から護身用のピストルを贈られたほどでした。ところがハリス夫妻は「たとえ事故に遭っても悔いはない。武器を携えることは自分の心に反することだ」と考え、海にピストルを投げ捨てたといいます。日本人への愛情を示すエピソードとして今でも語り合っています。

# 普通科一般コース

一般コースは、勉強、部活動、生徒会活動、ボランティア活動にのびのび打ち込みながら、充実した学校生活を送ることができるコースです。

自分の希望志望に応じて、2年時から2コースに分かれます。

幅広い選択科目の中から、個々の進路に合わせて履修科目を選択します。

○文理系：国公立大学、薬科大学、看護大学、高等看護学校など

医療系学校への進学を目指すコース

英語・数学・理科を重点的に学習します。

○文 系：文系私立大学、短期大学、各種専門学校への進学や就職を目指すコース

英語・国語・地歴公民を重点的に学習します。

## ■普通科一般コースカリキュラム（一部抜粋）

	国語	地歴公民	数学	理科	英語	選択科目
高1	4	4	5	4	6	
文理系	高2	4	5	4	4	7 数学B、化学、数学課題探究 など
	高3	4	5	6	4	7
文系	高2	6	5		2	9 簿記、フード&クッキング、体育特講、聖書探究、美術I、書道、音楽II、現代文演習、標準英語 など
	高3	7	5			10

\*上記の数字は標準的な選択科目を履修した場合の単位数です。



## 看護系に強い遺愛一般コース

指定校推薦や一般受験で、30名以上の看護系専門学校や看護系四年制大学への合格者を輩出しています。2年時の理数科目に特化したカリキュラムや、3年時からの看護系模試の実施、看護系進路志望者への通年講習、面接練習などによって、希望する進路への現役合格を叶えることができます。



「遺愛」という校名の由来。

本校は、開校に尽力されたライト夫人の名をとった「カロライン・ライト・メモリアル・スクール」と呼ばれていました。しかし一世紀以上も昔では、横文字はピンとこない人も多く、覚えやすい日本語による校名が望まれていました。そこで文学者内藤鳴雪に、本校創立のいきさつを知らせて校名選定を依頼。「遺愛」の名が生まれました。"Remembrance of Love"が英語による最も適した表現であり、「遺愛」の二文字は開校にいたるまでの物語を表現するのに、最もふさわしい校名といえるでしょう。

# 英語科

1969年に設置されて以来、道内の英語科をリードしてきた本科では、毎年、各界で活躍する数多くの卒業生を輩出しています。英語科は、難関私立大学や文系国公立大学への現役合格を目指すコースです。3年間の総授業数の約3分の1(週12時間以上)が英語教育に充てられるなど、英語を重点的に学習します。英文解釈・文法はもちろん、英会話・ディベート&ディスカッション・エッセイライティングなどを通じて、グローバルな視野で世界を見つめる生徒の育成に努めています。またネイティブの専任教員から、直接英語指導を受けられるため、実践的な生きた「英語力」が身につきます。

## ■英語科カリキュラム(一部抜粋)

	国語	地歴公民	数学	理科	英語
高1	5	4	5	4	10
高2	5	5(7)	(4)	2	11(13)
高3	5(7)	5	(6)	(4)	7(15)

※上記の数字は標準的な選択科目を履修した場合の単位数です。※( )内は教科選択した場合の単位数です。



**PICK-UP**

身につけた  
英語力を、  
より「使える英語」に

函館市と協力して、入港した大型クルーズ客船に乗船した外国人観光客向けに、英語通訳・観光案内ボランティアを行っています。英語科の生徒を中心にしており、積極的に観光案内や道案内をしておもてなしします。

## 英語の授業紹介

英語科では、週2時間の『英検』の授業を行います。1・2年生が合同で行う授業で、自分が取得を目指す級(3級～準1級)ごとにコースが分かれています。年間を通して、英語技能検定を意識した学習を行うことができるため、積極的に『英検』を受験する生徒が多いです。また、1次試験を合格した生徒は、2次試験である面接対策として、英語科のネイティブの教員による面接指導を受けることもできます。卒業時までに全員が2級以上を取得することを目標としています。





遺愛のICT教育として、【Classi】と【ClassiNOTE】を活用できる環境を提供しています。【Classi】は、生徒一人ひとりの学習進捗を可視化でき、効率的な学習サポートを実現します。【ClassiNOTE】では、オンライン上でノートを共有し、クラス全体での情報共有や協働学習がスムーズに行えます。どちらも、学習の質を高めるために欠かせないツールです。これらを活用して、皆さんの学習をさらに充実させましょう。



【スタディサプリ】を遺愛特別価格で利用できる機会を提供しています。このオンライン学習サービスでは、最新の教材と充実したサポートを活用して、学力向上を目指す皆さんを強力にフォローアップします。多彩な講師陣による質の高い授業を、時間や場所に縛られることなく手軽に受けることができ、効率的に学習を進められます。特に試験対策や受験勉強に力を入れたい方には最適です。



通年で主要科目的講習を開講しています。共通テスト対策や国公立二次対策のための講習など、目的別、レベル別に開講されているため、自分のニーズに合ったものを選択することができます。部活動のため放課後の時間で講習を受けることができない人は、直前に行われる集中講習や、長期休みの時に行われる講習を利用して、自分の課題克服に努めることができます。



## EPISODE 6



本校発展のために尽力された、初代理事長佐藤昌介博士。  
本校の三大精神である「信仰・犠牲・奉仕」の額は、つねに生徒・職員の目に触れるところに掲げられていますが、校長室に掲げられている額の文字は、大正15年（1926年）9月8日に初めて生徒達の前に掲示されたものです。本校の初代理事長であった佐藤昌介博士の筆によるものです。佐藤博士と本校とのかわりは、大正2年（1913年）、当時札幌農学校（現北海道大学）の総長だった氏が本校を視察したところから始まりました。デカルソン校長とも親交があり、「英文科の設置」「文部大臣指定学校になること」などを提案して、本校の発展のために尽力されました。



### 先輩アドバイス



遺愛を卒業した大学生や社会人を呼んで、自分が高校生だった時の話や大学で勉強している内容、仕事の紹介など将来に繋がる話をしてもらう機会を設けています。生徒たちからも好評で自分の未来や目標を考えるよい刺激になっています。コロナ禍はオンラインでの開催がメインとなりましたが、今年度からは実際に来校していただきます。

### 充実した自習室



学校図書館、進路指導室、情報教室、コンピュータ教室(LL)など、学校で自習室として開放している部屋が沢山あります。平日の朝や放課後の時間はもちろん、日曜日も自習室として利用することができます。今年度から新設された自習室は、机ごとに電源も用意され、生徒たちに大変好評な設備となっています。

### 進路ガイダンス



高校1年生では様々な職業についている方を、高校2年生では進学、就職などに詳しい方を講師として進路講演会を行っています。また進路ガイダンスでは、大学・短大・専門学校・看護学校など100校以上が体育館で遺愛生のためだけの説明会を行います。自分が希望する分野や学校についての話を、少人数で聞くことができるので、詳しく知りたいことをどんどん質問し、進路の幅を広げる良い機会となっています。



「函館市荣誉市民」の称号が贈られたミスドーラ・エー・ワグナー。  
米人教師ミスドーラ・エー・ワグナーは、大正4年(1915年)から本校の教壇に立ち、昭和28年(1953年)まで約40年間にわたって函館市の文化、女子教育、社会福祉に貢献しました。その功績が認められて、昭和42年(1967年)、函館市から「函館市荣誉市民」の称号が贈られました。本校の創立85周年記念式典のためにアメリカから来函していたミスドーラ・エー・ワグナーに、函館市から「あなたの心は、いつまでも函館に残るでしょう」という感謝の言葉とともに、表彰状や記念品が授与されました。

## 海外研修制度

本校では毎年、海外研修への参加者を募集します。今年度は3月に『オーストラリアでの海外研修』を計画しています。日本を出発し、シドニー近郊でのホームステイ、シドニー観光、文化交流など様々なプログラムを予定しています。英語で考え、英語で過ごす『100%英語漬けの海外研修』にみなさんもぜひ参加してみませんか?(ただし最小催行人数があります)



## 礼拝

3年間毎日使用する、自分専用の讃美歌と聖書を買います。朝のはじまりに、心を穏やかにする時間をもつことで、一日健やかに学校生活を送ることができます。入学時には戸惑う生徒が多い礼拝も、卒業時には『心の支え』と呼ばれることが多く、人格形成において大切なひとときの時間となります。



## 朝読書

毎朝10分間を朝読書にあてています。たった10分ですが、毎日続けることで、自身の視野を広げるきっかけにも繋がり、読解力も育っていくでしょう。読む本は、好きな小説・エッセイを読んでいる人や、進路にかかる分野の新書を読んでいる人などさまざまです。本の分量にもよりますが、多い人は朝読書の時間だけで、年間で40冊以上も読んでいるようです。



## SDGs

2022年6月に、北洋銀行と損保ジャパンと「SDGs(持続可能な開発目標)教育支援に関する協定」を締結しました。共同して「みんなで創ろう!ほくようSDGs教育支援プロジェクト」をはじめ、SDGsに関する基礎的な学習、ガイダンス、地域企業のマッチング、SDGs宣言書作成などに取り組んでいます。

2023年12月には、五島軒とコラボして『ほたてカレー』を、チカラフーズとコラボしてジェラート『IAICE』を企画し、商品化するなど、学校全体で具体的な取り組み・活動を行っています。



## 全校ボランティア

遺愛の三大精神「信仰・犠牲・奉仕」を実践しようとの思いから始めた全校ボランティアは、前期中間試験の最終日、全校挙げて取り組む活動のことです。のべ500名程度が参加し、学校近辺の町内清掃に取り組んだり、学校が位置する町会にお誘いいただいて、電車の通るメインストリートに季節の花を植えたりします。街の人から「ありがとう」と声をかけていただいたらしく、生徒からはとても素敵な笑顔が見られ、自然と異世代交流が生まれることも。





**夢と思い出をわかつあう3年間を「青春」と呼びたい。**

本校では年間を通じて多彩な行事がプログラムされています。とくに生徒会行事は、生徒一人ひとりの創意が活かされています。強制的な活動ではなく、自主的な創造を尊重しています。真剣に、そして明るく、屈託のない笑顔で「青春」の3年間をエンジョイしてください。

4  
5  
6  
7  
8  
9  
10  
11  
12  
13  
14  
15  
16  
17  
18  
19  
20  
21  
22  
23

- 始業式
- 入学礼拝式
- グループエンカウンター(高1)
- 対面式
- 高体連壮行式
- 遠足
- 高体連
- 中間考查
- 全校ボランティア
- 合唱コンクール
- 遺愛祭
- ホワイトハウス公開
- 吹奏楽部定期演奏会
- 高校見学会
- 高文連音楽発表会
- 期末考查
- 進路講演会(高1)
- 生徒会立会演説会
- 前期終業式
- 後期始業式
- 修学旅行(高2)
- 体育祭(高1、高3)
- 進路講演会(高2)
- 全校修養会
- クリスマスツリー点灯式
- 中間考查
- 進路ガイダンス(高1、高2)
- キャロリング
- クリスマスのゆうべ
- クリスマス礼拝
- 学年末考查(高3)
- 大学入学共通テスト
- 実力テスト
- 開校記念日
- 学年末考查(高1、高2)
- 予錢会
- 卒業礼拝式
- 百人一首大会(高1)
- 終業式
- 海外研修



### Christmas Event

遺愛ではクリスマスを盛大にお祝いします。校内に4本のクリスマスツリーが飾られ、正門横の杉の木にはイルミネーションも飾られます。クリスマスを祝う多彩なイベントがおこなわれ、全生徒でモチベーションを高めます。



EPISODE 8



セーラー服アラカルト。  
多くの女子中学生のあこがれの制服として知られる本校の制服は、昭和5年(1930年)に制定されました。残念ながら戦争によって、途中何年か使用できなくなりましたが、復興が著しくなった昭和29年(1954年)には待望の復活を果たしました。復活当時は、教師側よりしろ生徒側が積極的にかかわり、現在のデザインに決定したいわれています。制定前は和服洋服随意といい、和服の場合は「元袖袖綿服」として質素な装いが原則でした。制服の制定は、生徒の父母からの「そろそろ制服を定めては」という意見がきっかけでした。





遺愛がモデル校だった、石坂洋次郎の「若い人」。

石坂洋次郎の小説「若い人」は、昭和8年～12年（1933年～1937年）に発表されて人気を呼びました。青年教師と女学生、そして女性教師の三人がくりひろげる学園青春小説です。石坂氏が執筆にあたって、本校を舞台としたと伝えられている有名です。何度か映画化もされました。最近では「SKE48」のMV、映画「PとJK」、アニメ「明日ちゃんのセーラー服」のモデル校としても使用されています。

# CULTURAL CLUB

- YWCA ●図書局 ●吹奏楽部 ●放送局
- 新聞局 ●生物部 ●英語部 ●音楽部
- イラスト部 ●化学部 ●美術部 ●書道部
- 茶道部 ●家庭部 ●写真部

## 2023年度主な大会成績

- 吹奏楽部 北海道管楽器個人・アンサンブルコンテスト  
3年連続W金賞  
全日本アンサンブルコンテスト  
3年連続出場  
全日本高等学校吹奏楽大会in横浜  
2年連続連盟会長賞  
音楽部 第90回NHK全国学校音楽コンクール  
道南地区大会 銀賞  
第57回北海道高等学校文化連盟  
道南支部合同演奏会 最優秀賞  
演劇部 第57回全道高等学校音楽発表大会 奨励賞  
高文連道南支部演劇発表大会 優秀校  
新聞局 高文連道南支部新聞部新聞コンクール 特別賞  
放送局 高文連放送発表大会兼NHK杯放送コンテスト  
道南地区大会  
・アナウンス部門 優良賞・朗読部門 最優秀賞  
・ラジオドキュメント部門 最優秀  
・研究発表部門 優良賞  
高文連放送発表大会兼NHK杯放送コンテスト  
北海道大会  
・ラジオドキュメント部門 入賞（全国大会出場）  
高文連第46回放送コンテスト道南地区大会  
・アナウンス部門 優秀賞・朗読部門 優秀賞  
・ビデオメッセージ部門 優良賞  
・テレビCM部門 優秀賞  
・研究発表部門 優良賞  
美術部 高文連道南支部美術展 優秀賞、奨励賞  
写真部 高文連道南支部写真部地区大会 佳作  
英語部 高文連道南支部高校英語弁論大会  
・個人 3位、5位・団体 2位  
高文連国際交流専門部  
英語プレゼンテーション大会  
・団体 2位、4位  
書道部 第57回全道高等学校書道展 優秀賞



# SPORTS CLUB

- 新体操部 ●ソフトテニス部 ●卓球部
- 陸上部 ●水泳同好会 ●バレーボール部
- 羽球部 ●剣道部 ●バスケットボール部

## 2023年度主な大会成績

- 陸上部 北海道高等学校新人陸上競技大会 走幅跳 4位  
国民体育大会陸上競技大会北海道選手選考会 少年B女子円盤投 8位  
バスケットボール部 春季大会 優勝  
高校総体函館支部予選会 準優勝（全道大会ベスト8）  
秋季大会 準優勝  
新人大会地区予選リーグ戦 3位  
バレーボール部 高校総体函館支部予選会 優勝（全道大会出場）  
選手権大会函館支部予選会 3位（全道大会出場）  
羽球部 高体連函館支部春季バドミントン大会  
・女子団体 優勝・ダブルス 優勝、準優勝、3位  
・シングルス 優勝、3位、5位  
高体連函館支部バドミントン大会  
・女子団体 優勝・ダブルス 優勝、準優勝、3位  
・シングルス 優勝、3位  
高体連函館支部新人バドミントン大会  
・女子団体 優勝・ダブルス 優勝、3位  
・シングルス 優勝、準優勝、3位  
ソフトテニス部 春季大会  
・団体Aチーム 優勝・ダブルス 2位、3位、5位  
・シングルス 3位  
高体連支部大会  
・団体 準優勝（全道出場）・個人 3位、5位、9位（全道出場）  
国体予選 準優勝、3位  
秋季大会  
・団体 優勝（全道出場）  
・ダブルス 優勝、準優勝、3位（全道出場）  
・シングルス 3位、5位  
新体操部 高体連函館支部春季大会  
・団体 優勝・個人一部 優勝、2位、3位  
・個人二部 優勝、2位  
高体連函館支部大会  
・団体 優勝・個人一部 優勝、2位、3位  
・個人二部 優勝、2位  
北海道高等学校体操競技・新体操新人大会  
・団体 4位・個人二部 優勝、4位  
北海道高等学校体操競技・新体操新人大会  
・団体 2位・個人一部 5位  
剣道部 高体連大会  
・団体 優勝・個人 1位～3位（全道大会4名進出）  
北海道大会 全道決勝トーナメント進出（2年連続敢闘賞）  
新人戦道南ブロック大会  
・団体 2位（全道出場）・個人 全道出場  
水泳同好会 北海道高等学校選手権水泳競技大会  
・200m平泳ぎ 5位・100m平泳ぎ 6位  
空手 高校総体全道大会 2位（全国大会出場）  
高体連函館支部予選 優勝  
選抜大会函館支部予選 優勝

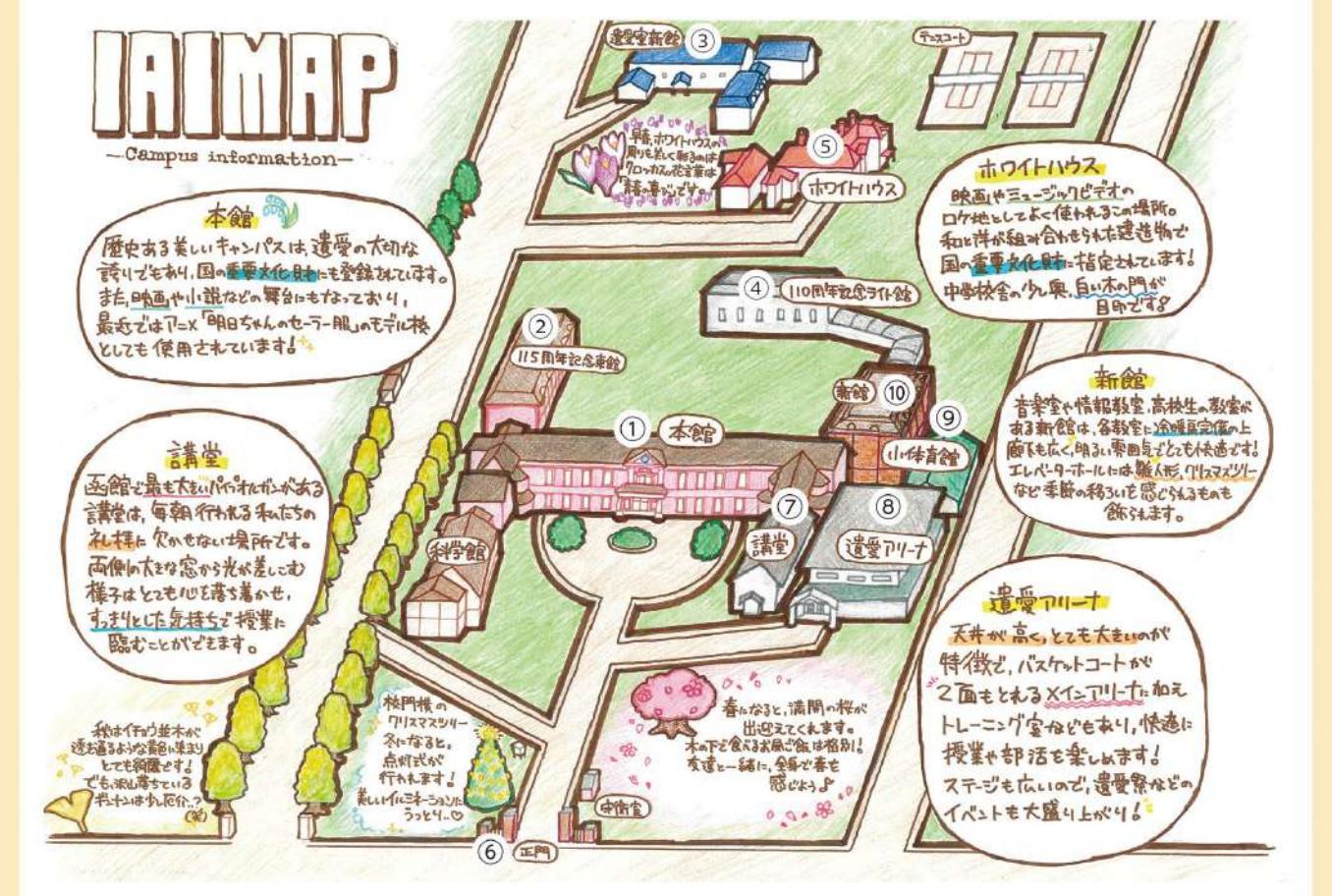




# Campus Information

## 充実した環境で、情緒豊かな人間形成を

閑静な住宅街の一角にある、豊かな自然に囲まれた本校は、生徒が自然に学習できる場を提供するなど、充実した施設と快適な環境づくりに努めています。本館は、国の重要文化財に指定されており、2024年度の創立150周年記念に合わせて改修工事が終了しました。種類豊富な蔵書が生徒に評判の「図書室」、道南最大級のパイプオルガンのある「講堂」、心安らぐ「チャペル」、バスケットコートが2面とれる遺愛アリーナなど、多彩な施設が充実しています。また、四季それぞれの美しさを見せるキャンパスは、情緒豊かな人間形成を目指した最高の環境となっています。



キリスト教主義女子校としては、関東以北最古の歴史を誇る「遺愛」。キリスト教主義の女子校は、東北・北海道地区に多数ありましたが、最も長い歴史を有するのが、明治15年(1882年)2月1日、「学校」として正式にスタートした本校なのです。当時、すでに孤児・貧児を収容した福祉施設や手芸裁縫を教えていたところもありましたが、本校が関東以北のキリスト教主義の女子校で最も古いといわれる所以は、創立当初から本格的な女子の教育機関としてスタートしたからにほかなりません。しかしハリス夫人が「函館に女子教育を」と考え私塾を開いていたのは、その8年も前の明治7年(1874年)のことでした。

## 授業料負担が大幅に軽減

# 奨学金制度／特待生制度／減免制度

「私立だから授業料が高いのでは?」という皆さんに耳寄りの情報をお知らせします。※2024年6月現在の制度です。

## 奨学金制度・特待生制度について

### 奨学金制度

#### 北海道高等学校奨学会 (無利子貸与)

- 月1万円の奨学金を借りた場合…卒業後返還年数12年 1ヶ月の返還額2,500円
- 月2万円の奨学金を借りた場合…卒業後返還年数12年 1ヶ月の返還額5,000円
- 月3万5000円の奨学金を借りた場合…卒業後返還年数12年 1ヶ月の返還額8,750円

※卒業後最初の1年間の返還は猶予されます。※大学在学中の返還は猶予されます。

#### 遺愛在学中に 経済状況が急変した時

#### 遺愛デカルソン奨学金

毎月、授業料より公的補助(高等学校等就学支援金及び授業料軽減補助金等)を差し引いた額を貸与、無利子。返還は年賦あるいは半年賦、最終学校卒業後6年以内に返還

#### 遺愛PTA奨学金

高3のみ対象、給付額は授業料より公的補助(高等学校等就学支援金及び授業料軽減補助金等)を差し引いた額、返済義務なし

#### その他奨学金

- 北海道高等学校奨学会の入学金貸付制度20万円(生活保護・住民税非課税世帯のみ)
- 各市町村の奨学金制度 ■ロータリー奨学金制度 ■各種企業奨学金 ■交通遺児奨学金など

### 減免制度

#### 遺愛特待生制度

#### 1.入学時特待生制度

推薦・一般入学試験で特に成績が優秀な生徒を特待生とし、公的補助とあわせ実質授業料無償、入学時納入金(138,000円)、校納金(月額6,200円)、修学旅行費用、教材費・副教材費、講習・模試費用を免除します。

#### 2.在学時特待生制度

在学中に著しく成績優秀な場合、1年間公的補助と合わせ、実質授業料無償の特待生にすることがあります。

#### 姉妹割引制度

遺愛には姉妹割引制度があります。

姉妹と一緒に在学している場合、中高問わず妹の授業料が半額になります。

#### ハリス奨学金制度

入試の成績が優秀な生徒を対象に、入学金と入学時施設拡充費用を減免する制度です。

#### 部活動奨学生制度

推薦入試志願者のなかで、クラブを限定して、部活動奨学生として入学金を免除する制度があります。

※2024年度入試では ■吹奏楽部 ■羽球部 ■剣道部 ■バスケットボール部

※その競技について、全道レベル以上の技術・実力をもっている(もつ可能性がある)生徒を部活動奨学生として認定し、入学金を免除します。

※2025年度の部活奨学生のクラブは7月以降に遺愛女子高等学校までお問い合わせください。

#### 入学金免除制度

市民税所得割額が非課税(年収およそ250万円未満)世帯は入学金13万円が全額免除になります。

### 月額授業料負担

### 市民税および道民税の所得割額の合算額

0円	市町村民税の課税標準額 × 6% − 市町村民税の調整控除の額 < 154,500円 (年収およそ590万円未満)
23,100円	市町村民税の課税標準額 × 6% − 市町村民税の調整控除の額 < 304,200円 (年収およそ590万円以上910万円未満)
33,000円	市町村民税の課税標準額 × 6% − 市町村民税の調整控除の額 ≥ 304,200円 (年収およそ910万円以上)

※上記の年収については、おおよその目安です。

